

セルゲイ・クドリャコフ & 篠崎史紀

デュオ・リサイタル ~ピアノとヴァイオリンによる心のアダージョ~



Program

【第1部】クドリャコフによる ブラームス・バリエーション
 バッハ(ブラームス) / バッハによるシャコンヌ(左手による)
 パガニーニ(ブラームス) / パガニーニの主題による変奏曲

【第2部】マロ&クドリャコフのデュオ・バリエーション
 ジーツィンスキー(篠崎史紀) / ウィーン、我が夢の街
 レハール(篠崎史紀) / メリーウイドウ ワルツ
 篠崎史紀 / チャールダーシュ“MARO” ほか

ジュネーブ & ゲザ・アンダ両国際コンクールの優勝者クドリャコフが待望の再来日。5年前の芳醇なシューベルトの世界から、今回はブラームスが「最愛のクララ」に捧げた純粋な情熱を二つの「変奏曲」の中に。そして後半は、無二の朋友でNHK交響楽団第1コンサートマスター「MARO」こと篠崎史紀の特別プロデュースによる初の「デュオ・バリエーション」にご期待ください!

Profile

セルゲイ・クドリャコフ Sergey Kudryakov (ピアノ)

2002年ジュネーブ国際音楽コンクール、06年ゲザ・アンダ国際ピアノコンクール、および、04年ガエターノ・ジネッティ室内楽コンクール(デュオ)すべて優勝の3冠を果たし、巨匠ネイガウスの再来と賞賛されるピアニスト。モスクワ音楽院にてミハイル・ヴァスケレンスキーに師事。トーン・ハレ管弦楽団他世界有数のオケ、指揮者の羨望を受ける。アレンスキープロジェクト(あ佳音/共演:篠崎史紀)、ピアノ巨匠シリーズ始め、独自のプロジェクトで活躍。

篠崎史紀 Fuminori Shinozaki (ヴァイオリン)

NHK交響楽団第一コンサートマスター。愛称“MARO”。15歳渡欧。ウィーン市立音楽院にてトーマス・クリスティアンに師事。ウィーンコンツェルト・ハウスデビューの後、1988年帰国。郡響、読響をへて97年N響のコンマス就任。「N響の顔」に。銀座王子ホール「MAROワールド」は通算20回を超えるロングラン。演奏者のほか、プロデューサー、芸術監督、作曲家として活躍。13枚のCDシリーズ最新作は「薔薇の騎士」。監修楽譜「MARO's Palette」。監修推薦著書「音楽の創造と靈感」。

■チケットセンター 一般発売開始日:5月24日(金)

チケットぴあ 0570-02-9999
 (音声認識予約・Pコード 201-073)
<http://pia.jp/t/>
 e+(イープラス) <http://eplus.jp/>
 Confetti (カンフェティ) <http://confetti-web.com/>
 0120-240-540
 日経ショップ 03-6256-7682

※チケットは全席指定・税込です。※未就学児童のこ入場はお断りします。
 ※やむを得ない事情により出演者・曲目などが変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

2013 **10.31** [木] 18:30開演 (18:00開場)

会場 **日経ホール** <http://www.nikkei-hall.com/>

入場料: 一般=3,500円 子供=2,500円(小学生以上高校生以下)
 ※子供券は日経ミュージアサロン事務局のみでの取り扱いとなります。

会場のご案内

【東京メトロ】
 千代田線「大手町駅」神田橋方面改札より徒歩約2分
 丸ノ内線「大手町駅」サンケイ前交差点方面改札より徒歩約5分
 半蔵門線「大手町駅」大手町方面改札より徒歩約5分
 東西線「大手町駅」中央改札より徒歩約9分
 竹橋駅「4番出口」より徒歩約2分
 【都営地下鉄】三田線「大手町駅」大手町方面改札より徒歩約6分

地下鉄「大手町駅」下車C2b出口直結

無料巡回バス「丸の内シャトル」

「日経ビル」下車 詳しくは、バスナビをご覧ください。
<http://www.hinomaru.co.jp/metrolink/marunouchi/index.html>



日経ホール
 〒100-8066 東京都千代田区大手町1-3-7 日経ビル 3階

日経イベントガイド <http://www.nikkei-events.jp/>

お問い合わせ・予約◆日経ミュージアサロン事務局 TEL:03-3943-7066 (平日10:00-18:00)